

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
1	<p>◆この広場の総称を市民に公募するとおもしろい(例)ふれあい広場、いこいの森、やすらぎの里</p> <p>◆「～広場」の役割を明確にすること(広報、立て看板等を使って)</p> <p>◆イベント会場として安易に使わないこと。ただし、屋外コンサートとしてお金を徴収し市の収入になるものであればやっても可→そのお金はこの場所の環境保全に使う</p> <p>【個別】</p> <p>◆優先順位1:道路(①西医院と新潟日報の間②営林署脇③表門前)を拡幅する</p> <p>◆優先順位2:「緑化」「防災」</p> <p>・「緑化」…大賛成。地球環境保全のために、とにかく緑を精一杯取り入れる。芝生はちょっとで良い。代々木公園、新宿御苑を意識して、とにかく並木通りを造るべし。冬にはライトアップし、観光スポットとして活かすことができる。余計なものは置かずに、とにかくシンブルに、かつ緑が多く、お金を掛けないことが大切。※遊具も置かないこと</p> <p>・「防災」…位置づけは適正です。防災ゾーンの構想は賛成できる。だから、道路の拡幅は急務でしょう。災害時にあんな狭い道では混乱が拡大するだけです。せめてトラック(大型バス)2台がすれ違えるくらいの幅が必要です。</p> <p>◆優先順位3:「歴史・文化」</p> <p>足軽長屋パート2を設置し、低予算の入場料をいただく(長岡の歴史文化博物館を真似る)。他に市ですべきことがあるはずなので30年後でも可</p> <p>◇不要なもの</p> <p>・「生涯学習」…生涯学習センター充実させるべき。新たなものは不要</p> <p>・「賑わい創出」…産業振興センターがあるでしょ。そこを活用すべき。批判の多い中、現在も利用しているんだから、大いに活用すべき。</p> <p>◇その他</p> <p>約80,000(市の人口)×1,000(1人1,000円の募金)=8千万円の予算を使う</p> <p>広報で市長が理解と協力を求める声を上げる。市民総参加</p>
2	<p>◎12/1発行「広報しばた」に添付された活用整備構想(案)については、具体的に記載されていないので、詳細な内容を知らない市民にはわかりにくいと思われます。</p> <p>◎庁内検討委員会について</p> <p>・庁内検討委員長は誰か?どのような手法で検討したか?何回開催したか?総括を庁内検討委員会(各委員)に報告しコンセンサスを得たか?</p> <p>・文化財調査審議会等の権威ある期間や団体の意見を聴取、もしくは指導を求めたか?</p> <p>◎「大手中の門」について</p> <p>・市民検討委員会で提案としてコンセンサスを得た「大手中の門」を何故はずしたか?(中間報告書P6に記載)(会議録にはP44～47に記載)を無視。</p> <p>・存在する大手中の門の2枚の古写真から、東・西・南・北の外観並びに高麗門や土居の形状がはっきりと認識できる。(全国的にみても超一級資料である)</p> <p>・古絵図・古文書・発掘調査を行えば、将来的には三階櫓・辰巳櫓と同様に復元(復興)が可能だということを、市内外の人たちが知っている。</p> <p>・「大手中の門」を構想(案)からははずすことは不自然であり、行政・跡地活用市民検討委員会・庁内検討委員会の資質と良識が問われ、時代(次代)の評価に耐えられない。そこで、「将来は大手中の門復元を志向し、此定地に対して最大の配慮をする」趣旨の文言を加えて欲しい。</p> <p>◎駐車場の位置と入口について再考を要す。</p> <p>・主たる導入路は城北町交差点と考えられるが、旧東櫓付近(紫雲寺線ガソリンスタンドの斜め向)が適当と思う。</p> <p>・間口を広くとれば出入に支障はない(個人的に得たバスドライバーの一言)</p> <p>◎P3④の末尾「観光客誘致のためではない」の文言は基本テーマ「賑わい創出」と整合性がない。</p> <p>◎土橋門・帯曲輪の復元の考えには敬意を表す。</p> <p>◎武家屋敷復元は望むところではあるが、場所については、あまりにも史実が無視されている。もし、(案)どおりにすれば映画等のロケ地のような陳腐な景観となる。当該地内においても、史実に適合する適当な場所がある。</p> <p>新発田市百年の大計にたち、しっかりとした構想をつくりあげてください。</p> <p>全くの緑地(城前広場あるいは城址公園)とし、適度の植栽のほかは建造物は設置しない。</p>
3	<p>【理由】</p> <p>1 この地は新発田のシンボルゾーンというべきところです。世界の由緒ある都市のシンボルゾーンは、大概は有名な広場ですね。やはりシンボルゾーンとしての城前には広場がふさわしいと思います。本当は二の丸すべて(営林署、新潟日報、旧市営住宅地を含む一帯)が広場であれば良かったと思うところです。</p> <p>2 ここに施設を造るというのであれば、深く考えてから着手して下さい。大倉製糸の跡地は何十年も放置されたままでしたが、この度、見事に駅前ゾーンとして甦りました。県立病院跡地も今は緑地のままとし、あとの利活用は次世代に任せましょう。</p> <p>3 市長も緑地化の意向がお強いようですが賛意を表します。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
4	<p>◆「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン(朱色)について 城との景観にマッチした建築物であることが重要である。となると第一に考えられるのは ① 市内にある城下町時代の建築物を移築する ・武家屋敷(清水園横) ・その他、物、色または復元も可 ② 軍都の歴史を示すものを残す ・白壁の兵舎(自衛隊敷地内の歴史記念館)移転 ③ 歴史、民俗資料館的なものを附加する増築(新築) ・紫雲寺、豊浦等の歴史上意味のある精選されたものを検討して展示する—教育資料として位置付ける ①～③を通して新発田の歴史、あゆみが分かる学習資料として市民に親しめる楽しいスペースになるよう工夫が欲しい</p> <p>◆「生涯学習」ゾーン(紫色)について 生涯学習センター地域交流センターなど建築物としては、それなりに個性的ではあるが、市民にとって使い勝手の悪い。“市民に使いやすい”“親しまれる施設”を望みます。その第一として ① 市民が市中央部での60人以上集える集会場のようなスペースが欲しい。「平らで運動し集会も可能なもの」 ② 市立美術館が県北の文化都市として存在しないのは、今ひとつ納得がいかない。 ※現在の市収蔵品の公開をより効果的にと願うばかりである。</p>
5	<p>※A案 ■「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン 城下町としての記憶を忘れないような、仕掛けを新たに創出する。 1.馬出前の堀を一部再現し、本丸前の馬出の姿を復元する。(その際、御門前の道路は閉鎖し、土塁などを一部復元し、管理用の車両のみ入れるようにする。) 2.堀の底は空堀とし、全面にアヤマを植える。(堀の前面は階段状にし、容易にアヤマ園に近づける様にする。) 3.辰巳櫓東側敷地は、将来計画として住宅移転保障代替地としての空地とする。 ■「緑化」「賑わい創出」「防災」ゾーン 4.城址公園との繋がりを強く意識し、将来一体として利用できるよう計画する。 5.広い芝生・周囲を植栽した広場とし、災害発生時避難場所を確保する。 ■「賑わい創出」「防災」ゾーン 6.2つの駐車場を整備する。(駐車場内及び周囲は桜を植栽する。)(アスファルトを敷き詰めた舗装ではなく、緑の中の駐車場とする。) ■「生涯学習」ゾーン 7.白壁兵舎を移築する。(郷土資料館として活用する。) 8.保存武家屋敷移築する。(休憩所、売店、展示場、東屋、茶室などに活用する。)</p> <p>※B案(予算を考慮しない場合) ■「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン:A案に同じ。 ■「緑化」「賑わい創出」「防災」ゾーン 1.市役所を移転し、敷地全面に渡り新築する。その場合地上1階・地下2階建てとする。(地上1階・地下1階を市役所とし、地下2階を全面駐車場とする。) 2.屋上全面を芝生・植栽広場とする。(災害発生時の避難場所とする。また、屋上は階段、スロープ、身障者、高齢者用エレベーター(2箇所程度)で、地上と結ぶ。) 3.敷地周囲には、桜を植樹する。(1階市役所への採光確保と、周辺への配慮。地下部分部屋の採光と、通風のため、数箇所地上部への吹抜空間を作る。) ■「生涯学習」ゾーン 4.必要あれば、地下1階部分に設ける。</p>
6	<p>1 「歴史・文化」「生涯学習ゾーン」 歴史的景観の整備ってなんですか？ また、表門 三階櫓 辰巳櫓の一体的活用で、なんで市民や子供たちの生涯学習に役立つんですか？</p> <p>2 生涯学習ゾーン 現在の「生涯学習センター」の活用は今後どうなっていくのですか？</p> <p>3 「緑化」「賑わい創出」「防災ゾーン」 市民の憩いの場として、また、イベントが開催できる場とありますが、新発田城址公園があるではないですか？ 防災の非難場所とて城址公園並びに各学校のグラウンドを利用すれば済むことだと思いますが・・・ 海あり山あり川あり、豊かな田園風景に恵まれている当市にとって緑化なんて重要な問題ではないと思います。 ※もっと観光等に力を入れて市の経済効果を高めるような活用方法はないのでしょうか？ あっちにポツン、こっちにポツンと散らばっている歴史的建造物や武家屋敷等を一括集積し、新発田城と並行した観光施設の創作、並びに自衛隊に眠っている旧軍の「白壁兵舎」を市の資料館に活用する等色々あると思いますが・・・</p> <p>尚、行政でこれら施設、観光を第三セクター的方式でやっても上手くいかないと思います。夕張の二の舞になるのが落ちです。 民間企業と行政が一体となって、更なる経済効果の発展が望める活用方法を模索すべきだと思いますが・・・</p>
7	<p>新発田市は月岡温泉という観光客が県内外からの集客力がありながら、新発田市にお金を使う様な観光名所も薄く他の市町村へと移動してしまいます。新発田城といい新発田市のシンボルがあるわけですし、新潟ふるさと村の様な地元の産業をいかした物産店を作ってはいかががでしょうか？ また、この物産館には、新発田まつりの華、しばた台輪6台を常時展示、数台の大型モニターではしばた祭りのあおりや揉み合いを放映し観光客に雰囲気味わいさせたいとおもいます。各町内では素晴らしい台輪格納庫があるのは知ってますが、わざわざ見学に行く人はいません。様々な伝統などで難しいかもしれませんが、台輪連絡協議会の方々と市民の要望や協力があれば可能になるかもしれません。観光客や市民のみなさんが新発田市にお金を使ってもらえる様な施設があってもいいのではないのでしょうか。 学習施設もいいですが利用する人はするが、しない人は生涯学習センターさえ、一度も利用した事ありません。 近年行われている全国雑煮合戦のようにだれでも気軽に楽しめる、そんな活気ある新発田市になってもらいたいですね。</p>
8	<p>第2の県立病院もしくは医師の住宅</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
9	<p>【5つの基本テーマと4つのゾーンについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今必要なのは新発田百年の計だ。100年後のシバタはどう変わっているのか 短・中・長期でビジョンが示され、市民が理解できれば必ず具体化できる。(できない理由を考えないで、出来る方法を) ・「歴史・文化」「生涯学習」「賑わい創出」は必要でしょう。「歴史・文化」は姫路城、大阪、松本、名古屋各々を参考に。「生涯学習」は人をつくるため、小さな歴史にこだわることは反対。「賑わい創出」は活性化の重要課題。 <p>9【結論】</p> <p>ゾーニングをちまちました考えでまとめずに先を見据えて具体化して欲しい</p> <p>【将来の夢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新発田城、駅があり、春には弘前城に負けない桜が咲き市民の憩い場所 ・タバコ畑がなくなり緑と花の園になり、あちこちに楽しい老人ホームがあり、広大なシバタ緑地、シバタ海洋レク地などボランティアによるバスがくまなく走っている、そんなシバタにすんでみたいなあ
10	<p>○「生涯学習」ゾーンについて</p> <p>勤労者(特に私の様に家族を持っている人)にとって、仕事上のスキルアップのために資格取得等の学習を行う場所がない、昨今の狭小な家庭の事情は集中して学習を行える環境が非常に乏しいように思える。</p> <p>そこで、生涯学習ゾーンとなる部分に“自習”をするためのスペースを設けることを提案します。</p> <p>具体的には“自習”を目的にきた人が個室(インターネットカフェのブースのイメージ)で持ち込んだ参考書等を広げて学習するために、普通の事務机より広めの机を置き、広さは1～1.5坪/室程度。最近の学習の状況からインターネット環境(但しパソコンは設置せず、持ち込んだノートパソコン等からLAN接続(LANケーブルの貸し出し又は、無線LAN環境)してインターネット閲覧が可能)する。また、就労者が仕事が終わった後に利用できる様に深夜まで(できれば23時頃まで)利用できる。自習スペースはあくまでも“静か”に学習できる様グループ室は設けない、設ける場合は階を分ける等ゾーニングする。料金(有料とする)1時間¥100程度、以上が私の提案(希望)です。</p> <p>立地条件から公民館等のセミナーを中心とした施設や図書館などと一体的な使用をする事により相乗的な効果が期待できます。昨今の、就職難ではあるが人材が不足している状況を踏まえると、向上心を持った人に、学習する環境を整えることは新発田市の経済の発展等将来を見据えた場合には非常に有用であると考えます。</p> <p>新発田市の活性化について(県立病院跡地の利用案)</p>
11	<p>【提案】</p> <p>新発田市の産業・歴史・偉人等を紹介する観光館を建設し、観光客を誘致すること。それによって若者の働く場所が増え、地場産業の活性化になることを願います。</p> <p>特に来年はNHK大河ドラマの影響もあり、県内にも観光客が増える見込みです。それらを見過ごすことなく、新発田にも明日を運んでもらえるよう、旅行会社にも積極的に働きかけた方が良くと思います。新潟県内でも「新発田市には観光要因(資源)が数多くあるのに、それらを活用しきれていない」と市外の方からご意見をいただきます。ぜひ、早期に立案・活動して下さい。</p>
12	<p>1. 新発田城二の丸大手口のシンボル大手中の門、堀、土塁の復元について</p> <p>市の案では駐車場と芝生広場があるだけで、どこでも見られる都市公園です。新発田城の魅力を更に高めるためには二の丸の入り口に当たる大手中の門とそれに繋がる土塁、堀を可能な範囲で復元することが不可欠です。</p> <p>【公園の進入路について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館前の県道から公園への進入路は現在の森林管理所脇の市道から60mほどJA側に動かし、信号制御はJA側と連動させます。(清水園前と上鉄砲町の信号のように) ・この道路を市道認定し森林管理所脇道路と結びますが、大型バスは公園の駐車場より先は進入禁止とします。 ・県道紫雲寺線に接するGSの前の出入り口は、通常は使用せずイベント時に誘導員を配置し使用します。 <p>【防災施設としての堀、土塁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀はまさに防災施設です。集中豪雨の時は調整池として機能し、大火の時は防火用水、地震時の火事は水道が機能しなくなるため貴重な防火用水となります。堀の面積を確保するため進入路は橋で渡ります。大きな排水路が安兵衛衛生誕碑脇にあり道路排水を一時的に貯留する調整池としての効果も期待できます。堀幅20m×長さ100m×調整深さ1m=2,000m3程度見込まれ2～3時間の集中豪雨には十分対応できます。 ・また、土塁も大火の時の火除け機能もあり、いざと言うときに役に立ちます(旧安田町の火除け土居も現存) <p>【新発田城二の丸の景観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁判所、市役所、文化会館と旧三の丸の通りを歩いてくると目の前に二の丸の土塁と門が出迎え、堀を右に眺め高麗門、渡り櫓門を潜ると遠くに隅櫓が見えタイムスリップした空間が出現します。また、中の門は文化会館や郵便局を訪れる人は必ず目にする事になり、中の門や堀、土塁は県道沿いから眺めることができます。図らずして多くのひとが城下町新発田のシンボル新発田城を意識し、歴史に触れるきっかけとなります。堀には睡蓮、堀端には花菖蒲、土塁上には桜などを植栽すれば四季を通じて通行人の目を楽しませることでしょう。 <p>【史実に忠実な復元は可能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査をすれば中の門、二の丸の堀、土塁の正確な位置まで解かり、埋め立てられた堀の中には中の門の石垣の石が埋まっている可能性が非常に高いと思われます。まず、用地を取得したら現在の市道から病院の駐車場の舗装を撤去して発掘調査をすべきです。 ・古写真も2方向から残っており、櫓門の寸法も安田蕉鹿が記録しています。 <p>2. 辰巳櫓脇への武家屋敷の復元について</p> <p>武家屋敷5棟、五十公野御茶屋長屋門の復元について早急な復元をすることについて異論はありません。ただ、辰巳櫓の脇とは最も安易な場所ではないでしょうか。本丸の直ぐ脇で下級武士の屋敷はあまりにも歴史を無視しているようになりません。また1棟ずつポツンと配置し休息施設では、せつかくの5棟もある武家屋敷を生かしていません。あくまでも5棟まとめて、旧武家町を思わせる配置方法を検討すべきです。</p> <p>県立病院跡地にこだわるなら、かつて中の門の二の丸側に5棟ほどありました。ここなら歴史的にも問題はないでしょう。ただ、ここに配置するには、駐車場、芝生広場を減らさなければなりません。そもそも、全てを県立病院跡地に入れ込もうということに無理があるのではないのでしょうか。城を中心とした整備・利用を重点とし、歴史文化からの生涯学習、賑わいを考えるなら、武家屋敷の適地は県立病院跡地にこだわる必要もないのではないのでしょうか。</p> <p>武家屋敷の復元場所については新発田城を中心とした区域ということでした。ならば下級武士の武家町に隣接した外ヶ輪公園の南側用地の活用こそ、次善の策として検討すべきではないのでしょうか。県立病院跡地にこだわらなければ城の景観整備、駐車場、広場の確保が可能となるではありませんか。</p> <p>足軽長屋と新発田川の景観に匹敵する城下町の情緒ある景観を、武家町の面影を残す外ヶ輪裏と新井田川の流れる外ヶ輪公園と一体となって創うことができます。城にも近く生涯学習センター、小学校にも近いですし、学習センターから続く植栽は散策路として良好な景観を作り出しています。歴史を生かした落ちついた所であればこそ生涯学習、文化活動に利用できるのです。まち歩きも楽しくなるのではないのでしょうか。</p> <p>辰巳櫓の脇は袋小路であり、武家屋敷街としての配置は難しいでしょう。ポツンと1から2棟でしょうか。城趾公園のどん詰まりの休憩所では観光客も立ち寄らず、新たな魅力を創ることは難しく、学習施設としてもあまり利用されないのではないのでしょうか。人家にも隣接していて防災上の問題もあります。</p> <p>*辰巳櫓の脇は以下の問題点がありますが市としてどのようにお考えでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)辰巳櫓の脇はあまりにも本丸に近く城の景観上問題がないのか、城の価値を下げることにならないか。 (2)人家に近く準防火区域内での茅葺きで復元する場合可能なのか。復元そのものは問題ないのか。 (3)下級武士の屋敷を本丸脇に配置することについて歴史的に違和感はないのか。 (4)この面積で武家屋敷5棟と御茶屋長屋門1棟復元できるのか (5)文化財関係者など専門的な知識を持った人の意見を聞いたのか。 <p>*辰巳櫓脇の用地の活用についてですが、用地は自衛隊の敷地に大きく入り込んでいるので、この部分は自衛隊との交換用地とします。5億円も掛けた三階櫓、中は入れないまでも自衛隊側用地を確保し、せめて、一番大事な櫓のコーナー部分を付け櫓を掘越しに眺められるようにすべきではないのでしょうか。三階櫓下の内堀の復元と小広場を整備します。</p> <p>残った辰巳櫓脇の用地は辰巳櫓の歴史景観整備のため内堀を復元し、櫓全体を眺める小広場の整備にとどめるべきです。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
12	<p>3. 千載一遇のチャンスを生かし城下町新発田を代表する施設に 県では来年大観光交流年と位置づけ観光立県推進条例を制定するなど観光客誘致に力をいれています。国も観光庁をつくり国内外からの観光客誘致に本腰をあげています。 先日、県で開かれた会議では新潟の観光客は大幅に減少している旨報告があり、講師から新潟は米と酒しかイメージが無く町の特徴を生かし町並みを巡る町づくりでないと観光客は来ない。新発田市は県内他の市町村が羨むほど有数の歴史遺産、有名な温泉を有しながら、十分な活用がされていません。他の城下町が城の景観整備を努力している中、新発田市は県立跡地が手に入るという大きく飛躍する千載一遇のチャンスが到来しました。芝生広場と駐車場を主体とした整備ではどこでも見られる都市公園です。このような整備を実施すれば、新発田市だけでなく新潟県全体の損失となることでしょう。 新発田城は県内の城郭の中で復元、整備にむけてこれほど条件が揃っているところはありません。県内唯一の現存城郭、なまこ壁の美しい櫓、切り込み接ぎの石垣、堀、復元された櫓、取り壊し前の姿を伝える多くの古写真などです。しかし残念なことに本丸と二の丸の北半分が今でも自衛隊の駐屯地として使われており、城は薄皮だけで中身がありません。このことが新発田城の入場者が増えない理由の一つです。 今回、二の丸の南半分が取得できるわけですから、本丸の周りだけでなく、二の丸の大手中の門とそれに続く堀と土塁を復元することが、新潟県はもとより全国から注目を浴びることになります。決して箱物を創るわけではありません。武家屋敷街もふくめかつてあった城下町の景観を再現するもので、国や県の観光政策にも合致するものです。</p> <p>4. まずは新潟県の担当に相談を 県内で都市公園の整備では防災を主体とした公園は多くありますが歴史を主体として整備された公園は県内には実例がないそうです。近年観光(交流人口の増加)のための事業については条件が緩和されるようです。「まちづくり交付金事業」と「都市公園事業」、そして「歴史まちづくり法案」をうまく活用していけば素晴らしいものができます。 発掘調査、看板整備、箱物整備など「公園事業」では認められないメニューも「まちづくり交付金事業」では基幹事業や提案事業(事業費の28%まで4割補助)でも可能です。急がないものは発掘調査をして石垣や土塁の一部だけでも復元して市民の関心を高め、募金を視野に入れて本格整備するという方法もあります。一旦補助金を入れて整備すれば施設によっては数十年は手を付けることが難しくなります。新発田の命運を左右する計画と言っても過言ではありません。県立病院跡地に限定せず外ヶ輪公園など周辺地域も含め、市の整備構想(案)が固まる前に最新情報を有する県と十分相談して欲しいのです。 市の構想(案)では、どこにでもある公園で、歴史調査、歴史遺産を活用し町おこしに汗を流してきた心ある市民の皆さんのやる気を削いでしまいます。市は貴重な税金を投入するので、しっかりした計画を立てて急ぐもの、出来るものから着実に実行していく、こうすれば市民にも夢を与え、市外の人も毎年楽しみに訪れるのではないのでしょうか。新潟市が背後に位置していること、他の市町村が注目していることを忘れてはなりません。新潟市に無いもの、県内、近県にない新発田だけの本物を見せるように整備していくことこそが交流人口の増加に必ずつながります。 新発田の名前が売れば、加賀野菜、長岡野菜などのように、新発田野菜、新発田の米、新発田の和菓子、という具合に全国的に有名になり観光だけでなく農業にも利益をもたらすことになります。公共事業予算も抑制されていく中で、商店街に客が増えれば店を修繕するなど民間投資が増え新発田が元気になっていくのではないのでしょうか。</p>
13	<p>1 跡地利用(活用)の基本的な考え方(認識) 跡地は、市として今後得られないであろう貴重な観光資源であるということ。この認識をお持ち頂いて、優れた歴史遺産を有する新発田市を、お城を存分に活かした観光開発をして頂きたい。この絶好のチャンスに利用の仕方(道)を誤らないよう、後世に悔いを残さないようお願いします。</p> <p>2 次に具体的なことを3点要望します。 ①跡地の一角に藩校「道学堂」の復元を 新発田は優れた人材、健全な文化を生んだまちです。その根源に人づくりがありました。その中核となったのが藩校「道学堂」でありましょう。もし、復元が実現すれば、現市のすべての教育、人間の在り方を考える拠り所や指針になりましょう。健全育成の根源にもなります。特に庄内藩(鶴岡市)や会津若松市の「到道館」「日新館」を手本にしてぜひご検討願います。お金は掛かることですが、人づくりの核になります。 ②辰巳櫓の二階窓から臼ヶ森山頂が見渡せるようにして頂きたい 臼ヶ森山頂には「のろし台」があったと言われていました。ところが、今は高い建物が邪魔になって見えません。取り壊した後は高い建物を置かないで見渡せるようにして頂きたい。そうなれば見る人(観光客等)の感動、うなずきが違ってきます。城としての認識が一段と深まるとともに新発田城の価値が高まります。 ③表門前の空間をカラッと広げて頂きたい 現在は、すぐ近くに高い建物があって見渡しがきかず圧迫感があります。景観もはなはだ悪いです。旧病院等を撤去した後にはぜひ高い建物を置かないで頂きたい。駐車場や広場は良いと思います。</p> <p>終わりに重ねて強調します。「行政サービス」(中身は分かりませんが)より観光開発・利用を重視して頂きたい。市の将来像を考えて。</p>
14	<p>構想案をじっくりと拝見させて頂きましたが、大まかな構想としては大変良い案ではないかと思えます。ただ具体的な施設等の提案がないので、はっきりと分からないのですが、防災ゾーンとして役割をもっと強調する必要があるのではないのでしょうか。 そこで、一つの提案なのですが、中央の緑化ゾーンの南半分を「防災ゾーン」と位置づけ、北半分は植樹帯とすることです。広場は城址公園で充分だと思います。防災ゾーンには、災害の際、直に対策本部が置ける建物(普段は、観光客の無料休憩所やトイレとして利用する)や、貯水槽、浄化槽、小発電所、物資貯蔵所などを造っておきます。 次に、私は常日頃この地を市中心街へ行くための通路として利用していて感じている事がありますので、幾つか述べさせて頂きます。 第一は、アクセス道路の整備がどうしても必要だという事です。この地区の周辺の道路はほとんど歩道のない狭い道路です。大型の観光バスやイベント等での大群衆を集めるには危険を伴います。ましてや災害時の避難場所や物資の集積所として利用した場合は、渋滞による大混乱を生じかねません。民家の移転や公園用地としての縮小が必要となるでしょうが、城址公園の部分も含めて、周囲に幅広い歩道を備えた道路を巡らすべきだと思います。(現在、文化会館側の県道には歩道がありますが、狭過ぎて余り役立ちません。拡幅が必要です。) 第二は、当該地内の道路についてです。この地域内では、車道と歩行者通路を完全に分離して欲しいという事です。特に現状では、城の表門前の道路を通過する車が多く、見物する人と混在して危険な状態です。この道路には車の進入を禁止すべきです。(どうしても車の通り抜けが必要なら、現在の特養ホームの後ろ側にも車道を新設すべきだと思います。)とにかく安心して城を眺められるように！！ それと同時に、駐車場が2個に分かれた形になっていますが、どちらにも出入口を複数設けて出入りをスムーズにして事故が起きない工夫をして欲しいものです。 第三は、城址公園と当該地との間にはさまれた民家の存在です。元々、旧練兵場に戦後造られた市営住宅を安易に払い下げた市当局の失政だと思いますが、公園の利用にとっては大変邪魔な存在になっています。特に、お堀に面した数軒の家にはどうしても立ち退いてもらう必要があります。現在、ここも狭い所に車と人が一緒に交通のネックとなっています。早急な対策が必要だと思います。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
15	<p>1 はじめに この跡地の獲得は千載一遇のチャンスであり、当市のまちづくりや人づくりの中核をなす重要な土地空間であり、この利用は将来に悔いを残すことのないよう多くの市民の声を聞き、短期に急いで結論を出すことのないよう慎重に対応すべきである。</p> <p>2 跡地活用の構想案に対する私の考え 5つの基本テーマごとの土地利用が提案されているが、限られた土地に対しあれもこれもと欲求が多過ぎ、結果として、十分に利用効果を上げる事にならないと考える。</p> <p>3 結論として 緑化1本にしほり「森(的なもの)」を形成することである。現在の自然環境の危機的状況の中で人間社会に失われた「自然」を回復(推進)させることにより荒廃した心身を癒し、人間らしい活力に満ちた市民の育成を目指したい。</p> <p>4 具体的には(概略)※五十公野公園のような機能あり ①適当な数のトイレ、休憩所(ベンチ)のみで建物は造らない ②跡地の境界の周辺に水路(ピオトープ、水辺など含む)をめぐるさせる:別図 青 ③それに沿って遊歩道(ジョギング、サイクリングコース)を造る:別図 茶 周回通路 ④水路や遊歩道に沿って多くの樹木を植える:別図 図-1(A)・図-1(B)の一部 ⑤その他の内側の空間には芝生の広場や小山などの自然環境(森林)を整える ⑥今あるお堀や城址公園を改修し、跡地と接続させて水路や遊歩道を周回させる ⑦お堀にはボート、水路には小舟を運行させたい:別図 青 周回通路 ⑧自由に入出入り出来るよう柵は設けず適当数の橋(小舟が運行できる高さ)を設ける(バリアフリーも考慮する) ⑨⑥に関連し、城址公園のトイレと駐車場を移転させて広々と使用する(道路の向こう側にある砂利の敷地(民有地)に移動する) ⑩駐車場はヘリポートも兼ねる</p> <p>5 おわりに この自然に富んだ緑(森林)の世界の中で市民が鳥のさえずりを聞きながら、浄化された空気を吸い、遊歩道を歩いたり、ジョギングをしたり、走ったり、子供達が元気に遊んだり、または釣りをしたり、芝生広場で色々なスポーツをしたり、ボートに乗ったり、小舟に乗ったり、ベンチで語り合う老若男女など…。過密化した都市空間や機械化・多忙化されてゆとりのない日常生活から開放された、こんな姿を夢見て、是非、跡地は緑に満ちた森林公園として利用してほしいものである。</p>
16	<p>旧県立病院の件ですが、もう老朽で解体する以外ないのでしょうか。まだ安全な物でしたら、リフォームだけで老人ホームが出来るのではないのでしょうか。老人ホームが非常に不足しているようですので是非考え直しはできないのでしょうか。緑化、他の予定の様ですがお城の公園をいつもウォーキングしていますが、人はバラバラ。まだまだ緑化は必要ないのではと思います。</p>
17	<p>高齢者福祉医療介護施設集積都市の建設による21世紀型地方モデルの策定により</p> <p>1 県立病院跡地に高齢者、高齢者のための医療介護施設(医療介護センター)を建設(旧病院施設を利用できるならば一石二鳥)</p> <p>2 現新発田市城表門前の特養ホームの拡充</p> <p>3 上記1、2の施設入居者等が車椅子で自由に散歩できるように新発田城前公園及び周辺を整備拡充</p> <p>4 車道とまったく分離・隔離した高齢者あるいは車椅子・電動車椅子等の専用歩道の建設</p> <p>6 車椅子あるいは電動車椅子走行高齢者のための休憩所、トイレ等を随所に設置(※当該地整備活用に関する意見抜粋)</p>
18	<p>○市役所移転 ○新発田市教育委員会発掘資料:たくさん有り、どんどん出てくる。説明者常時。 ○昼間居宅に在られ、夜間見守って(預けて)もらう施設 ※現在はショートステイ、施設入居、家政婦、ヘルパーしかないため ※現在は朝預け夕方に帰る(デイサービス) ・施設に入った人が100%良かったとは思っていない。「帰りたい、帰りたい」と願う。 ・年寄りになって自分を抑え込むのはかわいそう。 ・張り合いをなくす → 生きる気力失せる 【案:朝から夕方は居宅で、夜は跡地で寝る】 ・朝、昼(夕)は家族、ヘルパー(家族に状況を報告できる)と関わりを持つ ・なるべく家で暮らしたい方への対応 ・要介護4まで ・家で(元気で)将来を見据えて希望がある。家族も安心</p>
19	<p>私は50年後、100年後の子供達のために、是非、この跡地に広葉樹の森を造ってもらいたいと考えます。樅、ナラ、ブナ、柏、ケヤキ、イチョウ、トネリコなどの広葉樹はCO2を削減し、オゾン、O2の生産に大きく貢献することでしょう。日本はロンドン、パリなどの都市を持つヨーロッパと比べて森林公園の整備が遅れていると聞きます。一つでも森が増えたなら、それは50年後100年後の子供達への大きな贈り物になることでしょう。地球環境が今まさに危機的状況にあると叫ばれている時、少しでもその破壊にブレーキを掛ける行動こそ大切と思うのです。私は黒川紀章という人の公演会に行ったことがあります。彼はクウェートで病院づくりを色々された時、現地政府の人と話し合い、最初に森づくりから始めたそうです。病院から出る排水は全て広葉樹の森で有効活用し、一滴も無駄にしない方法をとりました。BOD(生物化学的酸素要求量)、COD(化学的酸素要求量)が高くて広葉樹の周りにアカシア、ニセアカシアを多量に植え、それらが見事に汚水を浄化する役目を果たしているそうです。この方法は、オマーンが地下水を都市生活に使った後、ナツメヤシの畑に散水し、有効に淡水を最後まで使い切る方法と同じです。森にはそうした素晴らしい力があるのです。跡地にコンクリートの建物を造ってしまったら、メンテナンスにも大きな経費を必要とするでしょう。それに対して森を(小規模でも良いから)つくる事は今の世代の子供達にも素晴らしいことですが、何より何世代にわたって富を地域にもたらしてくれるのです。これは環境経済学の立場から見ても決して後悔しない決断となることでしょう。私達は果たして50年後、100年後の世代に胸を張ってこの利用計画を話せるでしょうか。今の世代だけが便利に使えたら、後の世代のことは考えなくて良いという考えに私は強い抵抗を感じます。100年後の子供達のために森を残し育ててやりたい。生態系を考えた森づくりは、きっと市民生活に大いなる癒しと喜びを残してくれるものと確信します。</p>
20	<p>昔、大通りに新発田物産館なるものがありました。とにかく華やかさと賑やかさが無くなりましたが、あの辺り(病院跡地)は新発田大火に焼かれなかったところ。新発田物産館として、新発田の大切なものを販売したり、そこで食事をしたりでき楽しくなる場所を造って頂きたい。昔、物産館は上町(現在の中央町)にありましたが、昭和10年の火事で無くなり、さびれましたが、また、あそこにそれが出来ると町の過疎化も危ぶまれない。商工会議所で頑張って、市内のまちを良くし、昔、物産館があったもので、私の家も殿様について来た家でしたが、火事と強制疎開で無くなりました。あまり新発田の大通りの邪魔にならないような物産館。あまり安く売ると大通りの店に影響しますから、街からも買い物が出来て…。あそこの物産館からも何か購買力のある物を置く。大通りの商店街に邪魔にならないようにみんなで行けるところ。早く活気のある城下町新発田に再起することだと思います。火事前の素晴らしい城下町につくり上げて下さい。一人一人の市民の気持ちが大切です。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
21	<p>現状の整備構想案に対し疑問を伺える。 「緑化」を中心とした「防災」及び「歴史・文化」の利用にあたり、西公園、外ヶ輪公園で使用する物づくり、作成案が望ましい。 跡地における理想は専門学部の国立大学事業が望ましい。 中核市の当市では最大の力を教育方針に入れるべきである。一例を挙げますと、長野県における分野では信州大学。松本まで25～30km間である。新潟市からの範囲内に各部学校制作専念の見習いをして県・国に働きかけ、それに従い行動に進み、農業及び土木を中心とした、将来安心した物づくりを専念し、真剣に考え込んで、当市の駅より中心の立地条件としては通学に非常に恵まれている。 こういう場から新発見の物づくり、当市の事業計画案がないと発展は望めないのが誠に残念であり、早期実現に向け前進する必要性が第一である。 当市であれば農業学部及び土木学部の学校を整備することを専念とする。長年の夢を叶えるよう、若人のための事業計画を立て、未来の子供が安心して教育を受け暮らしやすい生活となることが第一ではありませんか。 構造改革を見直し、城下町(特に城等)を活かし、まずは誰が見ても素晴らしいまちづくりを行う。そのために道路計画に専念し、利用し、初めて価値観が生まれ、古い考え方は見捨てる。政治は活動して住み良いまちづくりに専念する(新発田市は他県に比べると教育の場が欠けている。これが元となる城下町として活かす)。 生涯学習会館等を設ける事業に専念することも第一ではないか。 進歩する城下町を活かしたイメージを忘れないこと、そして市の中心部が発展しない限り意味がない 新発田市がいうイメージは常々念頭に置きながら、物づくりに専念し、教育改革に力を注ぐ学校づくりを行う。 長年の人生に残す物づくり効果と、将来孫子の代に残す素晴らしい誇りと夢を与える。 物づくりの人材教育の場を出発点とすることを忘れないこと。</p>
22	<p>1. 本構想(案)では市民主体活用となっているが、新発田城見学など観光面においてももっと重視されるべきではないか。また、エリア周辺の側道やエリアへのアクセス道路も防災面や観光面において開発が必要不可欠であり、このエリアのみに囚われない、道路整備構想と連動した構想(案)でなくてはならない。 2. 構想(案)近辺の民家等においては土地収用の問題は当然あるが、広域的な部分も踏まえ「新発田をこうしよう」という強い意志をもった構想であれば、周辺住民の理解を得られるのではないか。県立病院跡地のみならず、その周辺も含めた新発田市全体を捉えたランドデザインの中での本構想(案)が必要と思われる。(ランドデザインの中での位置づけを明確にする) 3. 「緑地＝公園」といえば、コスト面でも最小限で済むし、市民の憩いの場・防災時の避難場所など大義名分が立つ。そして、市民第一に考えるのは当然であり「緑地＝公園」は正しいと考える。しかし一方で中心商業地との連携や市外からのお客様も大事なのではないか、「賑わい創出」や市外から来た人が感じる「心地よさ」を考えた場合、「観光客誘致や利便性の向上のためではない」という前提で意見を求めていることに対しては疑問である。(前述1.のアクセス道路とも関連する) 4. 新発田市には既に賑わい創出、生涯学習等々の今ある施設が存在する中で、広域的な施設も含め既存施設等との相乗効果など勘案し、まち全体の構想の中で、県立病院跡地活用の本構想(案)を考え市民に問うべきである。次の世紀の人に責任の持てる整備が行われることを望む。(前述2とも関連する)</p>
23	<p>○新発田は城下町として歴史的資料が多くありますが、それらを常設展示する施設がありません。多くの城下町では観光を兼ねた常設の展示館を備えています。当市でも実現して頂きたい。 ○市には数多くの美術收藏品があるものの収蔵庫が無くて困っていると聞いています。歴史・文化ゾーンにその設備を希望します。資料館内に併設したら良いと思います。</p>
24	<p>市が策定した「県立新発田病院跡地活用整備構想(案)」は概ね妥当であると考えます。この活用整備構想(案)を踏まえて提案します。 「生涯学習」ゾーンと呼ばれるところに美術館を建設することを提案します。その美術館には、以下のものを設けます。 ①常設展示コーナー(市が所蔵する美術・書道等の作品展示) ②美術展イベント企画展示コーナー(市展などもここで開催) ③実習室コーナー(油絵・日本画・彫刻・陶芸・工芸等の実習) ④歴史博物館・食文化展示コーナー(歴史的遺産の展示) ⑤食事・喫茶・休憩コーナー ⑥販売コーナー 新発田は城下町として、古い文化や伝統が市民の心の中に受け継がれている町である。その文化や伝統を受け継ぎ、更に発展させる拠点として、美術館は最適であると考えます。 「歴史・文化」・「生涯学習」ゾーンと呼ばれるところに解体されて30年の眠りにについている新発田の武家屋敷5棟を移築することを提案します。 「賑わい創出」・「防災」ゾーンと呼ばれるところ(できれば左側のゾーン)に食品・農産物展示・即売所を設置することを提案します。そこでは食事をしたり、休憩する場を設けます。</p>
25	<p>「市立美術(・歴史博物)館」の建設を提案いたします。 県立病院跡地活用整備構想の中に是非取り入れて頂き、文化ゾーンに美術館兼歴史博物館を設置して下さるよう強く要望いたします。 新発田市は、市教育委員会、市文化団体連合会と共催で、これまで3回にわたり市所蔵アートコレクション展を開催し、市が所蔵する美術品を市民に展示公開してまいりました。また、豊浦庁舎の3階の議場を改装した収蔵庫が特設されました。これを機に貴重な作品が相次いで新たに寄贈されていると聞き、大変喜ばしいことでもあります。これらの作品は、市民にとってかけがえのない財産であります。大切に保存されるとともに、広く市民に公開され、多くの鑑賞の機会が与えられることが強く望まれます。城下町新発田は、歴史遺産の宝庫であり、多くの歴史資料や職人芸等の伝統文化が遺されていますが、これまで保存の在り方や一般公開の機会が十分であったとは必ずしも言えません。 市は、まちづくり構想の柱の一つに伝統文化の継承と振興を謳っているからには、この点について、より一層の配慮が必要であると思います。 平成19年2月1日に発行された「広報しばた」に掲載された「新しい波」欄で市長は「美術館のない美術館の町」、アートで輝くまちづくり構想について述べておられます。市のいろいろな施設が美術品展示会場に利用されれば、市民が足を運ぶことにより街中が賑わうだけでなく、市民の芸術に対する意識を高揚させることができます。芸術への興味関心、参加意欲を増進させることができれば、市の文化活動の振興に大いに役立つものと期待されます。 しかし、その構想を実現するためには、美術展を企画、運営し、事業をプロデュースする人材が必要であり、さまざまな芸術分野を統括するコーディネーター的存在がなくてはなりません。更に、作品や資料の調査、研究、整理、保存等学芸員を中心とした人材確保が不可欠であり、ソフト面での整備充実が先決であります。そのためには、市内のいろいろな施設を利用した展示会場が分散したままではなく、それらを統括する基幹としての美術館が重要な役割を持つのであります。 また、国内外からの著名作品を借用し、陳列したり、市の重要文化財を常時展示したりする会場となると、セキュリティの問題からも管理の行き届いた美術館がどうしても必要になります。その意味において、「何も新しい建物を建てなくとも、町中の施設を利用すれば…」という発想は問題点があると言わざるを得ません。 新発田城は、全国に類を見ない三階櫓を擁する観光拠点であります。新発田藩の240年という長い歴史の中で、遺された歴史資料や美術品が多く保存されています。せつかくお城に訪れても、歴史資料館が無いことでがっかりして帰る観光客の多いことを考えると、博物館に類した歴史資料館の設置も同時に望まれるところであります。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
26	<p>ボトムアップを図りながらの、慎重なお取り組みに敬意を表します。</p> <p>1 「お城遺産」を活かした跡地にする。 日本海側では貴重といわれる「新発田城」を最大限に活かした活用整備を期待する。 そのために、各種「門」の建立や「武家屋敷」の移築・組み立てが考えられる。</p> <p>2 「歴史・生涯学習」ゾーンの充実を図る。 (1)市全体としての生涯学習振興は学習センターが担うとして、「歴史・生涯学習」の中心として(コア・ミュージアム)相応しい施設・設備の建設をする。 (2)次代を担う青少年の研修・宿泊施設を跡地の一角に建設する。 「道学堂」にならない、「新発田城」が見える跡地に設置し、青少年の健全育成に資する。 (3)新規建設が無理であれば、旧看護学校の施設利用も考慮される。</p> <p>3 生涯学習のまちづくりの視点を入れる。 上記1・2については、市全体の歴史・文化遺産との連結を図っていくことで、跡地の活用は更に生きていく。東公園・清水園・寺町・安兵衛(長徳寺・武庵橋)そして新発田城の環を活かしていく。</p>
27	<p>現在、私は市内の中学・高校でソフトテニスをボランティアで指導しているのですが、特に冬場の練習場所がほとんどない。何故ならば、冬場は体育館で練習するのですが、ほとんど室内競技(バスケットボール、バレーボール、卓球等)が使用し、更に、ニュースポーツのパウンドテニスなど室内競技が増えているため、練習場所の確保に大変苦労しています。それは、ソフトテニス以外の屋外競技全般に言えます。</p> <p>更に、来年下越地区中学校ソフトテニスの県出場枠が、上越・中越地区よりも減らされる案が会議に出されましたが否決されました。それは、下越地区のレベルが低いという事らしいのですが、やる気のある子供達がたくさんいますが、今の環境では限界があると考えます。</p> <p>そこで出来ればオムニコート(砂入り人工芝)約5面分多目的ホールの建設を希望します。多目的ホールであればテニスの他ゲートボール、サッカー、野球の利用が考えられ、最近、新発田でも盛んなラグビーの利用が考えられ、その他屋外イベント等の利用が考えられます。また、県レベルの試合の開催も出来ます。</p>
28	<p>私も案として少々ですが意見を出させて頂きます。</p> <p>新発田城のお堀の水の浄化を兼ねて公園などいかがでしょうか。水の公園として夏はもちろん冬でも外遊びの出来るような新しい発想の公園など良いと思います。また、場所が余るようなら、今流行りのメタボリック対策として、歩く温泉プールや美術館等、新しい発想として、新潟にはアニメの漫画家が多く活躍していますので、いつでも見たり遊んだり出来る美術館はいかがでしょうか。</p> <p>新発田の人達だけでなく、近隣の人達にも来て頂けるようお土産などにも力を入れて頂きたい。有難い事に、新発田には和菓子屋さん、洋菓子屋さんも沢山おられるので協力して頂き、「ここへ来たら何でも揃う」というくらいの相互のお土産屋さんが欲しいです。(酒、和洋菓子、野菜、米等々)</p> <p>新発田は若い人達にも良い所でこれからもずっと住み続けたいと思って頂ける、そんなまちづくりをして欲しいです。</p> <p>高齢者だけが残り何も無い(子供が大人になっても他県に移ってしまい何も残らない街)そんな新発田にしないで下さい。大学などの若い人達の声も聞き入れて下さい。</p>
29	<p>この跡地計画案を考える前に前提条件として新発田市の将来における活性化を念頭に置くべきと考えます。</p> <p>この跡地を市としての活性化を図るには、次のことが言えると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に欲が多過ぎないこと:あれもこれもと欲が出ると「虻蜂取らず」になってしまう ・城址という場所を活かすこと:公共的建造物は極力避ける。 ・一層の観光地への創造 ・魅力ある環境整備造り <p>以上のことが考えられますが、この内容に満足すべき活用整備構想として一つ提案致します。</p> <p>この新発田の歴史ある伝承の場、また新発田の将来に向けて、その時代時代の文化的遺産の継承の場として活用に重点を置くべきと考えます</p>
30	<p>緑化については、お城の景観にマッチしてブランド化できるもの。昔から別名「あやめ城」といわれているように、あやめを植えて観光の目玉とすべき。お城とあやめのマッチングは全国的にも聞いたことがなくウリにできる。現在、五十公野のあやめ園が有名だがリンクすることで観光客に滞在時間延長が期待できる。</p> <p>賑わい創出については、「駐車場や場所を提供するので何かやってください。」程度のものであるが、もっと賑わいを創出するため投資してもらいたい。せっかく雑煮合戦などで季節的ではあるが、芽がめばえてきたところである。今は食したらすぐ帰ってしまうのが現状だ。昨年はなにやら「色々歩いて立ち寄りください。」みたいなことを宣言してたが、たまたま天候が良くて足元も問題なければ良いが、冬場の厳しい時に本当に効果があるのか？</p> <p>私は以前から提案しているが、東京にある大江戸温泉物語のような施設を建設してはどうか？お城と飯豊連峰が見渡せるところに露天風呂を設置する。そうすれば、市内滞在時間も延びるし、お金も落としていってくれるのではないかと？お城と温泉のマッチングもブランド化できるのではないかと。</p> <p>歴史・文化については、記念館も武家屋敷も結構であるが、景観を崩さないようお願いしたい。特に石垣はこじんまりとしているが、とても調和が取れて美しいと感じている。全体として倉敷の美観地区や角館、津和野のように歩いて散策できるような景観にしたい。それと現在お城の資料は清水園で展示されているが、こちらに移すほうが望ましいと思う。全国的なインパクトとしては堀部安兵衛誕生の地に記念館を建設するのが効果が大きい。</p> <p>来年は新潟県の大観光年でもあり、北陸新幹線問題も控えているので、県北地域は特に観光の活性化に頑張っていたきたい。</p>
31	<p>今、新発田は「まち」として何をしなければならぬのかを考えた時に、商店街を中心としたこの寂れ方を何とかしなければという事が第一だと思います。</p> <p>「まち」の活性化を目指すのなら、この病院跡地活用は絶好のチャンスです。まず人をこの「まち」に呼び込む事。それは新発田の持てる資産を利用した観光事業です。観光は見世物ではなく新発田市の事業として確立せねばなりません。そのための場所としてこの跡地は大変有効です。</p> <p>新発田城をメインとした(資料館)(物産館)(食堂館)を併設し大型駐車場を設備すれば必然的にお金は「まち」に落ちてくれます。新発田に不足しているのは観光事業に対する考え方です。新潟市には無い城下町を売る絶好のチャンスです。</p> <p>城に人が来れば「まち」に人を案内出来ます。これには行政と市民ボランティアだけではとても出来ません。事業者の会、商工会の力を借りなくてはなりません。行政、事業者、市民ボランティアの三者一体の協力が必要です。</p>
32	<p>色々な施設の建設や人工的な手を加えるのではなく、人や動物も憩えるような空間を作った方がいいです。</p> <p>現在、新発田市内に徒歩で行ける自然がある場所が無いように思います。</p> <p>人は潜在的に森を訪れたいと思っていても、居場所が無かったり気軽に滞在する理由が無いと訪問しないのではないかと思います。レストランやカフェはそんな人々に訪問し滞在する理由や場所を提供するのだと思います。遠方の行楽地へ出かける人々のかなり多くが、別に遠くに行きたいからではなく、このような場所を探しているのではないかとと思うのです。むしろ郊外ではなく、都心に有るからこそ気軽に訪問出来(もちろん高齢者にとっても)、都市をより文化的にさせるのではないかとと思います。代々木公園や新宿御苑は比較的これに近いですが、運動広場が大半を占め落ち着いた滞在スペースは不十分だと思います。新発田病院の跡地はコンパクトで、石畳の遊歩道、並木、池、森、レストラン、カフェを配置すれば過不足無く収まるのではないかとと思います。都市景観と森が共に視野に入ることによって安心感を覚えるのではないかとと思うのです。市民の公共の書斎スペースとしても機能させれば、需要は大きいと思います。</p> <p>それと駐車場は少し完備した方がいいでしょう。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
33	<p>第一に駐車場と広場を大きく取ってもらえる計画と知り、一安心するとともに本当に嬉しく思います。災害発生時はもちろんですが、イベントや観光客を期待するにしても、この地においては自動車に頼らざるを得ないので、駐車場はどんなに大きくても過ぎることはないと思います。</p> <p>二つ目の願いは、広場にやたらと木を植えないでもらいたいと思っています。見通しが悪くなると安全上問題が多くなりますので、出来れば今の城址公園のように芝生主体で整備をして頂きたい。緑あふれる広場と聞くと、やたら植栽に走り無駄な仕事をしてしまうのではないかと心配してしまいます。くれぐれも見通しの良い広場にしておいて下さい。</p> <p>三つ目に、是非とも今現在生きている城下町新発田の文化の象徴として弓道場を設けてはと申し上げたく思います。</p> <p>私は弓道はしたこともなく、一般的にはあまり馴染みのないスポーツかも知れませんが、城下町のスポーツとしては結構絵になるのではないかと感じてきました。市内の幾つかの高校が、これまで何度も全国大会に出場していると耳にしておりますし、年配の方で現在も熱心に取り組んでいる人もおられるように聞きます。</p> <p>城下町の武士道精神を育むためには、母となる女性が取り組んで絵になる弓道は一つのアイデアかと思っています。</p> <p>あまり強大な設備が必要ないのも良い点かと思ひますし、外部と閉鎖的でない物が工夫できるのではとも考えます。駐車場からお城へ行くまでの間にあれば観光客の目に留まることもあるかと考えますし、芝生の上を歩く袴姿の人を見かけるだけでも「城下町新発田に来たんだ。」と実感してもらえるかと想像します。それに、素人考えですが、弓道場の空間は災害時には仮設のテントや炊き出しの場としても利用出来るのではと考えます。</p> <p>スポーツとしてはマイナーな点を逆手に取って、例えば溝口杯とでも銘打って日本一決定戦(すなわち世界一決定)の大会でも出来る景観になるのではと想像します。</p>
34	<p>新発田に生まれて30年以上経ちますが、この歳になってようやく新発田の歴史や史跡に興味を持ち始めました。そこで気づいたのは、新発田にはすばらしい歴史があり、物語性あふれる史跡と街並みが残っていることです。これは国内の名だたる観光地と比べても決してひけをとらないはずですが、しかし、諸々の事情によりその史跡や街並みが失われたり、残念ながら本来の姿ではない形で残さざるを得なかったりする現状があります。</p> <p>子供の頃から、授業などではなく、普段から新発田の歴史に触れ合うことができているならば、新発田という街に誇りを持つことができると思ひます。</p> <p>そこで県立病院跡地の活用については、映画のセットのような偽物や、本来の新発田とはかけ離れたものではなく、本来あるものを、本来あるところに、本来ある形であることにより、“本物”が存在する街に住む誇りを感じることができ、その上で“本物”によるにぎわいが創出されるような整備構想にするべきだと考えます。</p> <p>そこで次のような提案をさせていただきます</p> <p>① 整備構想(案)の基本理念「歴史的背景を考慮した整備」には賛成です。土橋門・土塁の復元については言及されていますが、大手中の門も含めて門や櫓、堀など“本物”を復活させるべく、復元を望みます。貴重な古写真や資料が存在することから、復元されたものは“本物”であるはず。</p> <p>② 整備構想(案)のゾーン設定ならびに駐車場とその入り口について</p> <p>県への提案のためにゾーン割が必要とのことですが、ゾーン割にこだわらない配置を望みます。歴史・文化ゾーン以外のところにも歴史的にも景観的にもすばらしいものがあるはず。(大手中の門や明治天皇に献上した水を取った井戸など多々。)残すものの選定やこれからの発掘調査の結果次第では足かせとなるのでは。同じ理由で駐車場とその入り口についても熟慮すべきかと思ひます。</p> <p>③ 武家屋敷の復原場所について</p> <p>整備構想(案)には、やむを得ず解体された武家屋敷の復原場所が辰巳櫓の脇になっていますが、本丸のすぐ側に下級武士の武家屋敷が存在することが、史実に忠実とは言えないはずですが、あくまで“本物”を目指すべき。復原場所については、専門家の意見を考慮すべきかと思ひます。</p> <p>今年、歴史まちづくり法と観光圏整備法の新法が国会で成立しました。観光庁も設置され、国をあげて観光地の形成を支援していることもあり、「観光客の誘致」と「市民の活用」は基本理念として同様に扱われるべきと考えます。市民がその価値を認識して誇りに思うことも大切ですが、観光客を含めた市外の方が評価することで、市民が誇りに思うこともあるかと考えます。県や周辺自治体とも連携できるものは連携して“本物”の整備を進めていただきたいです。</p> <p>“本物”にこだわった、より具体的な病院跡地活用整備構想を願います。</p>
35	<p>【意見の募集に関して】</p> <p>4月の意見の募集をされた際と、今回の意見の募集と何ら進展がないように感じます。</p> <p>①前回公募の市民の意見がどう反映されたのかが解からない。</p> <p>②ゾーン分類をしたのが構想(案)であれば、そのゾーンであるべき根拠を示してほしい。</p> <p>③3月末の整備構想の策定は、ゾーンを決定するということですか？</p> <p>上記の①が示されないと、公募ただけで何も考慮されていないという印象を受けてしまうのが正直な感想です。また、今回の案に関して意見を公募されても、②③が示されないとゾーンに対する意見を望んでいるのか、具体的な施設等に関する意見を望んでいるのか等の方向性が解かりにくいと思ひます。</p> <p>【ゾーンのテーマや配置に関して】</p> <p>▼「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン</p> <p>国の重要文化財にもなっている表門を含むこの周辺ゾーン設定ですが、三階櫓が建って以来、新発田の紹介の表紙になることが少なく、もっと大切に扱われるべきだと思ひます。目新しいものよりもずっと引き継がれてきているものを大切にしたいという意味から、表門を中心に引き立たせて価値を上げるための歴史・文化の中心としての位置づけという点では賛成です。</p> <p>ただ、このゾーンに集中して施設を建てる等の意味であれば、逆に景観にも悪影響を及ぼし、価値を下げるのではないかと懸念します。</p> <p>また、「歴史」に関しては、城跡、土塁のほか、病院の遺構、樹木、市民の思い入れのある場所等々にいたるまで、跡地全体に点在していると思うので、ゾーンに縛られずに、確実にピックアップして、エピソードとともに最大限残してほしいと思ひます。</p> <p>また、「三階櫓と一体的な活用」の意味するところや「生涯学習」の意図するところが曖昧で解かりません。跡地以外の城郭(城址公園、自衛隊内の本丸や三階櫓)も将来的には一体化する方向で計画をして欲しいと思ひ、他の生涯学習施設との住み分けや既存施設の充実も含め、この場所ですら必要なものかを検討して頂きたいと思ひます。</p> <p>▼「緑化」「賑わい創出」「防災」ゾーン</p> <p>4月の意見公募の際は「緑化」が基礎テーマになっていたと思ひます。イベントや避難場所として活用出来る単なる広場となると、何の特徴も感じられないように思ひます。また緑化というテーマを示し、広場にするために現在の跡地内の木々を伐採されては、矛盾が生じると思ひます。そういった木々を取り入れ、以前の掘であった地形等も考慮し水辺をつくるなど、広場でなく、凹凸もある日本庭園風で、ゆっくりと癒される空間をメインにしたアヤメ園を期待しています。したがって「賑わい創出」「防災」とは、ゾーンを別にしたいと考えています。逆に一本一本の木々の歴史やエピソードを考えるため、またアヤメや桜といった新発田の花木の文化を学ぶためにも「歴史・文化」「緑化」を組んでゾーン設定をして頂きたいと考えています。</p> <p>▼全体に関して</p> <p>① 病院跡地として考えた時</p> <p>陸軍病院としての歴史や医学という点から考えれば、藩設としては全国三番目(薩摩、肥後に次ぐ)、本州では初の設置という歴史もあります。病院は生死や健康を最も考えさせられる場所です。この地で生まれこの地で亡くなった人も多くいます。それを伝える碑や施設(医学館や陸軍病院の歴史や病院の遍歴、そして現在の医療や福祉の情報館的なもの)があっても良いと思ひます。</p> <p>例えば、特養の二の丸の移転という件もそこに住む利用者のことを考えると、お城の側が良い方も多いと思ひます。跡地内での移転も検討し、その中に併設し医療・福祉の情報や人の交流が可能なものや病院の歴史館的な要素があっても良いと思ひます。</p> <p>② 新発田城跡地として考えた時</p> <p>病院跡地は同時に、新発田城跡地でもあります。新発田城として考えると、城址公園や自衛隊内とは別には考えられないと思ひます。そして、この跡地は二の丸であり、本丸は自衛隊の中にあります。三階櫓も入れない状況であれば、必然的に将来自衛隊内の本丸地の共同活用や返還も含めて検討する必要があると思ひます。正直、ゾーン設定をするなら、私は市民であり県民であり、国民であるため、何処が所有している土地であろうと関係なく新発田城のゾーンとして別に設定が適当だと思ひます。区分をしているのは行政側の立場での思考です。本気で新発田城として検討するのであれば、病院跡地の枠組みの他に市、県、自衛隊、市民で協力して検討を重ねるべきだと思ひます。そういう方向性も含めての病院跡地活用を考えないと、結局はバラバラになり無駄も多いと思ひます。</p> <p>今回、様々な検討の中でゾーンの設定をされたのだと思ひますが、あまりゾーンにこだわらずに、この地で何を残し、何を伝え、何を新たに創造するのか、そしてどう活用し連携を図るのかを明確にして欲しいと思ひます。全体としての統一感や連携を図って欲しいと思ひます。</p> <p>このことは、新発田市全体に通じることで、様々な企画が魅力あるものであっても、バラバラで統一感のないものであったり、上手く伝えられていなかったりすることで、価値を下げてしまいます。全体としての統一感や連携を図って欲しいと思ひます。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
35	<p>【駐車場への進入経路に関して】 新潟県全体のこともかもしれないが、過剰な整備(装飾)が多く、見ためは良いかもしれないが解かりにくいケースが多い。目的に応じた動線を充分考慮して、明確な案内と複雑でなく単純な進入経路を検討してほしい。また高齢者や福祉施設のための駐車エリアも実際の活用するケースを充分考慮して設定してほしい。 ※ 従来型の単純な駐車場設定だけでなく、町歩きを促進するためのからくりや公共交通が充実するようシステムや案内も含めて検討していただきたい。</p> <p>【トイレの設置について】 トイレは、何処にあるかの案内や便利な場所にあることはよいが、景観の中心はさけて欲しいと思います。細かいことですが、そういった配慮の有無が、町の優しさや思いやりに関係してくるのだと思います。また、防災の観点から、電気水道が止まっても活用可能なトイレの導入もご検討下さい。</p> <p>【高齢者の思いも大切に】 今回のような意見の募集に関しても、基本的によほど関心のある人以外はわざわざ発信しないと思います。広報だっで見なかったり、インターネットを利用できない方やわざわざ市のホームページを見ない方も多いと思います。特に意見があっても記載も出来ないし情報も入らない高齢者も多くいます(施設入所の方も)。そういった方にも思いはあります。検討している内容や意見の収集を、町内会や施設等も通じて、色々な手段をもちいて聞ける手段もご検討いただけたらと思います。 そして計画は特に壊すまたは建てて取り返しのつかない計画に関しては、慎重に進めて頂きたいと思います。</p> <p>【歴史や思いの継承】 新発田には誇れる歴史が数多くある。歴史の浅い町の者からみるとうやましい限りです。しかし、同時に新発田の人は伝えることを怠ってきた。新しいものを造ることに一生懸命で、今ある伝えるべき、つなぐべき歴史を破壊していることにさえ気がつかないでいる。白壁兵舎の存在すら知らない人も多く、他にも兵舎が残っていることはなおさら知らない。安兵衛も何をした人かも知らない。まだまだ伝えるべき物、人がいるのにその状況にもいたっていない。そんな状況でここ10年あまりで殆どのものを失ってしまっている。歴史的価値や先人の思いも知らないまま、どんどん破壊され行く姿は非常に勿体なく、残念で仕方がない。この跡地も単なる破壊にならないように祈るばかりです。</p>
36	<p>I 「歴史・文化」・「生涯学習」ゾーン ⇒ 堀部安兵衛記念館の建設</p> <p>【堀部安兵衛によるまちおこし】 私は、新発田が「本当に」全国的に有名なものはただひとつ、「堀部安兵衛」だと思っています。堀部安兵衛には、日本中、誰でも知っている圧倒的なネームバリューがあります。「新発田」がどこにあるかわからない、あるいは「しばた」と読めない人でも、堀部安兵衛の名前は知っています。堀部安兵衛ならば全国に「新発田」の名をとどろかすことができるのです。しかも、新発田だけがこれを活かすことができるのです。なぜこんなに「おいしい」資源を有効活用しないのでしょうか。 今、どこの自治体でも観光資源をのどから手が出るほど欲しがっています。私は、「安兵衛のまち新発田」をキャッチフレーズに「堀部安兵衛＝新発田」を大々的に売り込むこと、これこそ、新発田の起死回生の策だと思っています。</p> <p>【堀部安兵衛記念館】 そこで、どうしても必要なのが「堀部安兵衛記念館」です。これを「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン、新発田城のそばに建設すべきです。なぜなら、堀部安兵衛の運命を決定づけたのが新発田城辰巳櫓だからです。いくら新発田が堀部安兵衛の出身地だといっても、見るべきものが銅像ひとつではお話になりません。堀部安兵衛を知り、感じ、満喫する。そしてそこから、新発田を知っていただく。そのために、記念館が必要不可欠なのです。 そして、展示物は、市が所有するものだけでは不足なので、全国に呼びかけ、散在する資料等を収集します。 なお、私は「資料館」ではインパクトがないと思います。これでは、主に歴史や学習に関係する人たちだけが利用することとなってしまいます。「記念館」として、多くの観光客も気軽に訪れることができるものにすべきです。</p> <p>【市民、特に子供たちに夢と希望と感動を。そして歴史を学ぶ楽しさを】 そして、市民、特に子供たちが、郷土最大のヒーローを学ぶことにより、こんなにすばらしい人物がふるさとにいたのだという誇りを持つことができ、郷土愛を育むことができます。 また同時に、歴史の楽しさを知ることができます。今の子供たちは歴史を知らなすぎます。無味乾燥な知識の詰め込み教育のため、歴史を「楽しむ、感じる」ことができなくなっているのです。子供たちが記念館で学び、歴史の面白さを知り、それがきっかけとなり、歴史に興味を持っていく。記念館は、そうした役目も持っているのです。</p> <p>【記念館のイメージ】 ・「歴史コーナー」…生い立ちから上京、高田馬場の決闘、そして忠臣蔵に至る一生を、数々の遺品や資料と共に知ることができる、記念館のメインとなるところです。子供たちにもわかりやすく、ストーリー性を持たせ、堀部安兵衛の一生に感動することができるものとします。こうした施設にありがちの、だらだらと陳列ケースが並ぶだけの退屈なものにしてはいけません。 ・「現代コーナー」…現在でも堀部安兵衛が映画、TV、演劇、小説等の題材として活躍していることを知ることができます。また、堀部安兵衛のみならず忠臣蔵に関する名所、イベント等、現在もこれらが全国各地で息づいている様子を知ることができます。 ・「新発田コーナー」…堀部安兵衛を育んだ新発田について知ることができます。新発田の他の観光名所を紹介し、足を延ばしてもらおうことを狙います。 ・「おみやげコーナー」…キャラクター商品と新発田の名産を販売します。 ・「レストラン、喫茶コーナー」…新発田の食材を使ったキャラクター食品と新発田の名産を味わうことができます。 ・「大駐車場」…観光バスも乗り付けられ、ゆったりと記念館そしてお城を楽しめる、大駐車場が必要です。</p> <p>【歴史博物館との関係】 新発田の歴史を一望できる、歴史博物館(資料館)の建設も要望があるようです。そしてその一角に堀部安兵衛コーナーを位置づけるという案があるようですが、これはいけません。これでは、「安兵衛」というインパクトが薄れてしまうからです。歴史博物館と堀部安兵衛記念館の両館を併設し、その間におみやげ、飲食コーナーを置く、などとするのはよいかもしれません。 なお、銅像ですが、記念館建設と共に、然るべき位置に移動させることは言うまでもありません。</p> <p>【記念館建設の他に】 また、記念館を建てるだけではダメです。作ることが目的になってしまえば、いわゆるハコモノとなり、お荷物に成り下がってしまうでしょう。そうならないためには、ここを拠点とし、あらゆる作戦を展開すべきです。 特に力を入れるべきは、義士祭です。大人の四十七士も募集するなど、盛り上げ方は様々あるはずですが。 次に、堀部安兵衛をNHK大河ドラマで取り上げてもらうべく運動を起こします。折角、昨年のNHK正月時代劇にまでなったのです。次は何としても大河ドラマを狙うべきです。市民運動の展開、芸能界の郷土出身者との交流促進など、がんばりましょう。もしも大河ドラマが決定したら…その時のためにも、あらかじめ記念館を建てておくべきなのです。 そして、キャラクターグッズ・キャラクター食品の開発・販売を進めます。そのために一番重要なのがキャラクターです。 その他すべきこととしては、全国の忠臣蔵関連地域との交流促進があります。忠臣蔵サミットへの積極参加、赤穂市との姉妹都市の提携、観光使節団の交流などなど。</p> <p>【付加価値】 記念館を中心に、こうして堀部安兵衛を大々的に売り込むことによって、新発田城や清水園などの名所旧跡、米、酒その他の名産品がさらなる光を帯びてくるのではないかと思います。ただ訪れたり買ったりするだけでなく、「あの堀部安兵衛のふるさとの何々」となる、つまり付加価値がつくのです。</p> <p>【まちじゅう観光】 近年、「まちじゅう観光」が脚光を浴びています。ありきたりの観光施設を訪れるだけでなく、そのまちの普段の姿に触れてみたい、まちじゅうが観光地、そんな「歩く」観光スタイルが注目を集めています。村上市しかりです。 上述のように、堀部安兵衛記念館には新発田全体の観光拠点という重要な意味がありますが、この「まちじゅう観光」を考えた場合、位置的には新発田城周辺の観光拠点となり、もうひとつの拠点である寺町・清水園地域の「寺町たまり駅」との二大拠点ができあがります。これらをお互いに起点・終点として、市内を散策してもらうのです。 新発田川を中心とした大栄町、御幸町界隈は路地裏やお寺が多くあり、下町の雰囲気味わえる地域です。また、お城と寺町の間には落谷虹児記念館、カトリック教会などが連なっています。真ん中の地域には新道・掛倉という大飲食店街があります。そして、一番大切なのが普段のまちなかの風景、そして住民の皆さんです。 まちなかを観光客がぶらぶらと歩く効果は非常に大きいと思います。何より住民の意識が変わってきます。迷った観光客に道案内をしてあげたり、お便所を貸してあげたり、夏の打ち水、冬の除雪など、観光客に配慮するようになります。そんな何気ない心配りが観光客の心を打つのです。観光客だけでなく、地元の人たちにも、ああ、新発田ってこんなにいいところだったのか、おもしろいところがあったのかと再認識してもらうのです。 記念館建設は、「まちじゅう観光」を明確化する、引き締める効果があると思います。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧

No.	市民意見・質問(要旨)
36	<p>Ⅱ「生涯学習」ゾーン ⇒ 市庁舎、物産館の建設(「緑化」・「賑わい創出」・「防災」ゾーンも一部含めて)</p> <p>【手狭な市庁舎】 現在の市役所は、本庁が手狭で老朽化していることに加え、各支所にも機能が分散し、甚だ非効率的な行政運営が行われています。これは市民にとって時間的にも経済的にも大きな損失です。機能を集中させ、効率的、経済的な新庁舎を建設すべきです。</p> <p>【防災対策】 災害発生時の避難場所として、県立病院跡地の有効利用が検討されていますが、それ以前に、果たして市役所が壊滅してしまったら、いったいどうなるでしょう。老朽化著しい現在の市役所本庁舎はいとも簡単に崩壊すると思います。私は、一刻も早く新庁舎を建設すべきと考えます。また、災害時には自衛隊が極めて重要な役割を果たしてくれます。この土地は、その自衛隊が目と鼻の先という好立地です。堅牢な新庁舎をここに建設すべきです。 また、そもそも避難場所という観点についてですが、これは、確かな防災計画に基づいたものなのでしょうか。ここを避難場所とすることにより、どれだけの市民が助かるのでしょうか。あるいは助からないのでしょうか。避難場所と銘打つのであれば、防災計画も併せて明示すべきだと思います。</p> <p>【新庁舎建設のメリット】 新庁舎を建設することにより、上述したように機能の集中による効率的経済的な行政運営が実現するのみならず、構造的に今まで不可能だったことが可能になり、結果、市民サービスが大幅に向上するのです。 そのひとつとして、たとえば相談窓口があります。市庁舎一階に総合窓口を設け、市民がわざわざ専門部署を訪れなくても、概ねの用事がそこで足りるようにします。そのためのプライバシーに配慮したブースを多く設けるのです。これにより、市民が気軽に市役所を訪れることができるようになります。 また、これを支えるのが、新庁舎建設の大きなメリットのひとつ、電算化の促進です。これまでとは比較にならない、飛躍的な効率化が図られます。たとえば、GIS(地図情報システム)の構築です。これにより、様々な図面類及びそれに付随する各種情報を瞬時にしてビジュアルに得ることができるようになるのです。</p> <p>【物産館】 市庁舎一階スペースの多くを物産館とし、飲食、喫茶コーナーも設け、市民の憩いの場とします。市役所を訪れた市民はもちろん、観光客も気軽に利用できるようにします。ここに来れば、新発田のほとんどの物産、情報が手に入るのです。 新発田には沢山の名産、名店がありますが、残念ながらお店がどこかわからなかったり、駐車場が狭かったり、売る側も買う側も損をしている状況ではないかと思えます。 当然、市庁舎一階は休日もオープンしています。先の市役所総合窓口も開設しており、諸手続きを休日も行うことができます。こうして、休日も賑わいが途絶えることなく、新発田の中心として活況を呈する場となるのです。 なお、この物産館は、先の「堀部安兵衛記念館」の各種コーナーと内容が重複するので、実際の設計時には両者合わせて熟慮する必要があると思います。</p> <p>【生涯学習ゾーン?】 ところで、「生涯学習ゾーン」とは何でしょう。生涯学習センター、公民館、地域交流センター、いっぱいあります。あいまいな整備はご免です。</p>